

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市・中核都市名	東京都		
高校入試 担当部署名	東京都教育庁 都立学校教育部 高等学校教育課 入学選抜担当		
TEL	03-5320-6745	FAX	—
URL	https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	田中 阿貴 (所属:北区立赤羽岩淵中学校)
--------	-----------------------

<全国一覧掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)	なし	外国籍生徒のみ	なし	なし	なし	日本籍生徒のみ	なし		なし		なし	
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)		②定員外		②定員外		②定員外						

I 全日制高校について			
	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2023年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	有	有
2-1.2024年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	日本語指導を必要とする生徒等に対する措置 ①ルビ付問題 ②ルビ付問題・辞書持込み	引揚生徒の受検についての措置	日本語指導を必要とする生徒等に対する措置 ①ルビ付問題 ②ルビ付問題・辞書持込み
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限	①入国後の在日期間が入学日現在原則として6年以内の者 ②入国後の在日期間が入学日現在原則として3年以内の者	引揚げ後に原則として 小学校第4学年以上の学年に入学した者	①入国後の在日期間が入学日現在原則として6年以内の者 ②入国後の在日期間が入学日現在原則として3年以内の者
2-3.措置の内容	①第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題について、ひらがなのルビを振った学力検査問題等での検査を実施する。 なお、在京外国人生徒対象の選抜(4月入学生徒の選抜及び9月入学生徒の選抜)における検査問題においても、本措置申請を行うことができる。 ②第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題について、ひらがなのルビを振った学力検査問題での検査の実施に加え、辞書の持込み(電子辞書を除く。)を一部認めるとともに、検査時間及び検査会場について適切な措置を講ずる。 なお、辞書の持込みに伴い、各教科10分の検査時間の延長があるが、国語の検査では辞書の持込みはできず、時間延長もない。	検査問題の程度を変えない範囲で、検査方法及び検査時間について適切な措置を講ずるとともに面接を行う。	①第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題について、ひらがなのルビを振った学力検査問題等での検査を実施する。 なお、在京外国人生徒対象の選抜(4月入学生徒の選抜及び9月入学生徒の選抜)における検査問題においても、本措置申請を行うことができる。 ②第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題について、ひらがなのルビを振った学力検査問題での検査の実施に加え、辞書の持込み(電子辞書を除く。)を一部認めるとともに、検査時間及び検査会場について適切な措置を講ずる。 なお、辞書の持込みに伴い、各教科10分の検査時間の延長があるが、国語の検査では辞書の持込みはできず、時間延長もない。
2-4.2023年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	有	無	把握せず
3-1.2024年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	○	○	○
3-1の名称	在京外国人生徒対象4月(9月)入学生徒の選抜	引揚生徒対象の選抜	海外帰国生徒対象4月(9月)入学生徒の選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記	外国籍のみ		日本国籍のみ

<p>3-2.滞日年数制限</p>	<p>入国後の在日期間が入学日現在原則として3年以内の者。ただし、入学日現在入国後3年を超える者のうち、入国日が令和3年3月1日以降の者については、入国後の在日期間が入学日現在3年以内とみなす。</p>	<p>引揚げ後に原則として小学校第4学年以上の学年に入学した者。</p>	<p>ア 保護者(保護者が父母の場合は、父母のどちらか一方でよい。ただし、本人と同居していない父又は母は海外又は都内に在住している場合に限る。以下、イ及びウにおいて同じ。)に伴った外国における連続した在住期間が2年以上3年未満の者(連続した2箇学年の課程を修了する見込みの者又は既に修了した者を含む。)で、入学日現在当該海外在住期間終了後1年以内の者。ただし、入学日現在当該海外在住期間終了後1年を超える者のうち、帰国日が令和5年3月1日以降の者については、入学日現在当該海外在住期間終了後1年以内とみなす。 イ 保護者に伴った外国における連続した在住期間が3年以上4年未満の者(連続した3箇学年の課程を修了する見込みの者又は既に修了した者を含む。)で、入学日現在当該海外在住期間終了後2年以内の者。ただし、入学日現在当該海外在住期間終了後2年を超える者のうち、帰国日が令和4年3月1日以降の者については、入学日現在当該海外在住期間終了後2年以内とみなす。 ウ 保護者に伴った外国における連続した在住期間が4年以上の者(連続した4箇学年の課程を修了する見込みの者又は既に修了した者を含む。)で、入学日現在当該海外在住期間終了後3年以内の者。ただし、入学日現在当該海外在住期間終了後3年を超える者のうち、帰国日が令和3年3月1日以降の者については、入学日現在当該海外在住期間終了後3年以内とみなす。</p>	
<p>3-3.入学校のある学校数/全学校数</p>	<p>8/167</p>	<p>3/167</p>	<p>4/167</p>	
<p>3-4.学校名</p>	<p>竹台、田柄、南葛飾、府中西、飛鳥、六郷工科、杉並総合、国際</p>	<p>深川、光丘、富士森</p>	<p>三田、竹早、日野台、国際</p>	
<p>3-5.定員 ※該当する方のみ記入</p>	<p>①定員内(枠内) ②定員外(枠外)</p>	<p><4月入学> 竹台20、田柄20、南葛飾20、府中西20、飛鳥20、杉並総合20、国際25、六郷工科15(プロダクト工学科・オートモビル工学科・システム工学科・デザイン工学科・デュアルシステム科各3)計160名 <9月入学> 竹台3、田柄3、南葛飾3、府中西3、飛鳥3、国際15(海外帰国生徒対象《外国の学校出身者》、在京外国人生徒対象及び国際バカロレアコース特別枠)計30名 合計190名</p>	<p>各校6名、合計18名</p>	<p><4月入学> 三田18、竹早13、日野台13、国際40(日本人学校出身者15、外国の学校出身者25)計84名 <9月入学> 三田2、竹早2、日野台2、国際15(海外帰国生徒対象《外国の学校出身者》、在京外国人生徒対象及び国際バカロレアコース特別枠)計21名 合計105名</p>
<p>3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	
<p>3-7.試験内容</p>	<p>作文及び面接。 なお、言語については、それぞれの検査において日本語又は英語のどちらかを選択することができる。</p>	<p>作文及び面接(日本語による)</p>	<p>三田、竹早、日野台、国際(日本人学校出身者):国語(作文を含む。)、数学及び外国語(英語)の3教科並びに面接 国際(現地校出身者):作文及び面接。 なお、言語については、それぞれの検査において、日本語又は英語のどちらかを選択することができる。</p>	
<p>3-8.2023年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択</p>	<p>有</p>	<p>無</p>	<p>把握せず</p>	
<p>その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2023年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入</p>	<p><特別措置> ①受験者数138名②受験者数57名 <在京外国人生徒対象4月募集> 受験者数201名・合格者数144名 ・3-6については、国際高校国際バカロレアコースを除く。</p>		<p><海外帰国生徒対象4月募集> 受験者数99名・合格者数87名 ・3-6については、国際高校国際バカロレアコースを除く。</p>	

II 定時制高校について			
	D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2023年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
2-1.2024年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	全日制と同じ	全日制と同じ	全日制と同じ
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記	全日制と同じ	全日制と同じ	全日制と同じ
2-2.滞日年数制限	全日制と同じ	全日制と同じ	全日制と同じ
2-3.措置の内容	全日制と同じ	全日制と同じ	全日制と同じ
2-4.2023年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	把握せず
3-1.2024年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×	×	×
3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			
3-8.2023年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2023年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			

Ⅲ 高校入学後の状況	
1-1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有
1-2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input checked="" type="checkbox"/> A.教育課程に位置づけられた日本語授業(特別の教育課程、学校設定科目、個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input checked="" type="checkbox"/> B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input type="checkbox"/> C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input checked="" type="checkbox"/> D.担当教員の加配
	<input checked="" type="checkbox"/> E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/> F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/> G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/> H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策
上記に該当する実施校の校数等	A・Bは在京枠校と日本語指導が必要な生徒が多数在籍する定時制高校、D.担当教員の加配は在京枠の8校、G.「多文化共生スクールサポートセンター事業」として東京都教育支援機構(TEPRO)に委託、Eは日本語指導が必要な生徒が在籍する高校に配置、Hは数校で実施。
補足事項	A～Hについては都の回答ではなく、調査担当者が把握している情報を基に記入。
2-1.「1-2のA」において 特別の教育課程 での日本語授業を行っている?	いる
2-2.行っている場合、実施校数、実施高校名	11校(令和5年12月時点)で東京都調査担当が把握している校名 【全日制】杉並総合、練馬工科 【定時制】一橋、六郷工科、世田谷泉、荻窪、桐ヶ丘、葛西南、町田、砂川、青梅総合
2-3.行っていない場合、今後、教育委員会として実施計画はあるか? ある場合は、その実施予定年度、予定高校数など	
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入	
4.2023年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	有 人数は把握せず
5.2022年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	把握せず

IV日本国内にある外国学校からの入学について

	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	外国籍を有する者
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	外国籍を有する者
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	外国籍を有する者
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	外国籍を有する者
3.上記の I II 特別措置と入学校での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含めない	外国人学校中等部の卒業生については、3-1特別入学枠は滞日年数制限なし。2-3①②の特別措置は滞日年数の制限あり
4.外国学校の中等部の卒業生について、2023年度入試において受験(受検)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	把握せず	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受検(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>・英語スピーキングテスト(E-SATJ)の特別措置は、試験開始前のみルビ付き冊子のみで、英語ができて問題設定が理解できず解答できない可能性があり、多言語対応してほしい。 ・在京外国人生徒対象入試で、一番学力の高い国際高校の入試が2月にあり、1月の入試(7校)に合格していると受検することができないので順番を逆にしてほしい。また、一般受検と同様、取り下げ・再提出ができるようにしてほしい。 ・ルビ+時間延長+辞書持ち込みが国籍を問わなくなったことは一歩前進であるが、在京外国人生徒対象入試は国籍要件があり、日本国籍で来日まもない生徒が受検できない。国籍を問わず来日年数だけを要件にほしい。 ・小学校高学年に来日した生徒や、非漢字圏の生徒としては、試験問題にルビがあるだけでは全日制の5教科受検には対応できず、3教科で倍率の低い定時制高校に多数在籍している現状がある。特別措置は、入試教科を減らして5教科に換算する措置にほしい。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>関東国際高校、啓明学園高校、品川エトワール女子高校、東京女子学院、立志舎高校</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>多文化共生センター東京https://tabunka.or.jp/、 YSCグローバル・スクール(福生・足立)、https://www.kodomo-nihongo.com/index.html</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>東京都高校進学ガイド(日、英、中)https://tabunka.or.jp/highschool_info/tokyoguide 「令和6年度東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」(英語版、中国語版、韓国語版) https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/exam/pamphlet2024_multilingual.html 「令和6年度東京都立高等学校定時制課程通信制課程入学案内」 (英語、中国語、韓国語、タガログ語、ネパール語) https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/exam/pamphlet2024_parttime_language.html</p>
<p>5.公立高校入試の特別措置や特別入学枠の設置のこれまでの経緯 ※〇〇年に特別措置が導入された(その内容)、〇〇年に特別措置が改善された(内容)、〇〇年に特別入試枠が導入された(内容)、〇〇年に特別入学枠の校数が〇校になった。…などのこれまでの経過について、わかる範囲で簡潔にご記入ください。詳しい内容が掲載されているホームページがあれば、記載してください。</p>	<p>【在京外国人生徒対象入試】1989年に国際高校開校時に導入(人数不明)。1999年15名、2002年に20名に増加(9月入学は帰国者含めて15名)、2006年に25名に増加。 2011年に2校・43名へ増加。(うち3名は9月入学)、2012年に3校61名へ増加。2016年に5校・107名へ増加(国際の9月入学は帰国者を含めて10名のため含まず。)、2017年に6校・125名へ増加。2018年に7校・135名に増加。2019年に校数変わらず145名に増加。2020年に8校・165名に増加。2021年に校数変わらず170名に増加。2022年に校数変わらず175名に増加。 【中国帰国者】1986年2校に導入。1987年4校・60名、その後不明。1999年12校・120名。2004年9校・90名に減少。以降、2008年4校24名、2018年3校・18名。 【特別措置】2007年にひらがなでルビを振った検査問題導入。2015年にルビに加えて辞書持ち込み+時間延長(国語以外)が来日3年以内の外国籍受検者に導入され、来日6年以内の受検者は国籍に関わらずルビ付で受験できるようになった。2023年にはルビ+辞書持ち込み+時間延長の国籍条件がなくなった。</p>
<p>6.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	